

2024年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年7月13日

上場会社名 インターライフホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 1418 URL <https://www.n-interlife.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 貴田 晃司
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 加藤 雅也 (TEL) 03-3547-3227
四半期報告書提出予定日 2023年7月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第1四半期の連結業績(2023年3月1日~2023年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第1四半期	2,993	△7.3	69	△48.6	74	△47.2	51	△57.0
2023年2月期第1四半期	3,229	18.8	135	—	142	—	118	—

(注) 包括利益 2024年2月期第1四半期 74百万円(△36.2%) 2023年2月期第1四半期 116百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第1四半期	3.29	—
2023年2月期第1四半期	7.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第1四半期	7,181	3,278	45.7
2023年2月期	7,298	3,280	45.0

(参考) 自己資本 2024年2月期第1四半期 3,278百万円 2023年2月期 3,280百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2024年2月期	—	—	—	—	—
2024年2月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年2月期の連結業績予想(2023年3月1日~2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	13,000	13.4	350	107.5	330	86.1	200	11.5

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年2月期1Q	20,010,529株	2023年2月期	20,010,529株
2024年2月期1Q	4,505,180株	2023年2月期	4,519,080株
2024年2月期1Q	15,500,665株	2023年2月期1Q	16,794,727株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 期中平均株式数(四半期累計)については、株式給付信託導入に伴い株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有する当社株式を控除対象の自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付書類3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2023年3月1日～2023年5月31日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症は感染症法上の分類が5類へ移行されたことで社会経済活動の回復に向け動きだし、個人消費や企業の設備投資などがコロナ禍前の水準まで戻りつつあります。一方、地政学リスクの高まりによる原材料費高騰など依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと当社グループは、中期経営計画の2年目の方針に基づき、工事会社主体の体制で次の成長に繋げるポジションの獲得を目指してまいります。

当第1四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動の制限は緩和されましたが、前年同四半期のような大型工事案件が少なかったことなどに加え、子会社売却等の影響などもあり売上高及び各種利益は前年同四半期を下回る推移となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,993百万円（前年同四半期比7.3%減）、営業利益は69百万円（前年同四半期比48.6%減）、経常利益は74百万円（前年同四半期比47.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は51百万円（前年同四半期比57.0%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

前連結会計年度において「その他」に含まれていた㈱ラルゴ・コーポレーション及び㈱エヌ・アイ・エル・テレコム並びに㈱アドバンテージの全株式を譲渡し、連結の範囲から除外したことに伴い、当第1四半期連結累計期間より「その他」の区分を廃止しております。

(内装工事業)

内装工事業は、㈱日商インターライフが展開しており、売上高は1,489百万円（前年同四半期比10.8%減）、セグメント利益は56百万円（前年同四半期比54.4%減）となりました。

前年同四半期のような大型工事案件が少なかったことから、前年同四半期を下回る推移となりました。

(音響・照明設備事業)

音響・照明設備事業は、㈱システムエンジニアリングが展開しており、売上高は1,051百万円（前年同四半期比24.6%増）、セグメント利益は45百万円（前年同四半期比38.8%増）となりました。

一部の大型工事案件の進捗が遅れが出ておりますが、その他の受注済み案件が順調に進んだことから、前年同四半期を上回る推移となりました。

(設備・メンテナンス事業)

設備・メンテナンス事業は、ファシリティーマネジメント㈱、玉紘工業㈱が展開しており、売上高は220百万円（前年同四半期比36.6%減）、セグメント利益は9百万円（前年同四半期比71.3%減）となりました。

アミューズメント業界や飲食業界の空調設備点検業務などが順調に推移しましたが、公共工事案件の進捗の遅れや入札案件が低調となったため、前年同四半期を下回る推移となりました。

(人材サービス事業)

人材サービス事業は、㈱アヴァンセ・アジルが展開しており、売上高は231百万円（前年同四半期比11.6%増）、セグメント利益は7百万円（前年同四半期比20.1%増）となりました。

通信インフラ企業への派遣人員が前年同四半期と比べ約8%増加したことから、前年同四半期を上回る推移となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて116百万円減少し、7,181百万円となりました。これは受取手形、完成工事未収入金及び契約資産等が580百万円、未成工事支出金が111百万円減少した一方、現金及び預金が536百万円増加したことなどによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて114百万円減少し、3,902百万円となりました。これは支払手形・工事未払金等が387百万円減少した一方、短期借入金金が79百万円、契約負債が128百万円、賞与引当金が67百万円増加したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて1百万円減少し、3,278百万円となりました。これはその他有価証券評価差額金が23百万円増加した一方、利益剰余金が28百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年4月13日に公表した2024年2月期（第14期）の連結業績予想に変更はありません。

内装工事業及び音響・照明設備事業において、一部の受注済み案件の進捗に遅れが生じておりますが、第2四半期以降に完工する見通しであることから、2024年2月期（第14期）の連結業績については、計画とおり推移するものと予想しております。今後業績予想の修正が必要であると判断した場合には、速やかに開示いたします。

(単位：百万円)

	2023年2月期 実績値	2024年2月期 業績予想値	増減率
売上高	11,460	13,000	13.4%
営業利益	168	350	107.5%
経常利益	177	330	86.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	179	200	11.5%
1株当たり当期純利益	11円33銭	12円91銭	1円58銭

(注) 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,787,329	2,323,554
受取手形、完成工事未収入金及び契約資産等	2,661,118	2,080,119
棚卸資産	4,671	4,744
未成工事支出金	671,533	560,239
その他	91,747	148,467
貸倒引当金	△1,306	△7,677
流動資産合計	5,215,094	5,109,448
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,193,926	1,198,722
減価償却累計額	△785,080	△792,061
建物及び構築物（純額）	408,845	406,661
機械装置及び運搬具	28,889	28,889
減価償却累計額	△24,074	△24,526
機械装置及び運搬具（純額）	4,814	4,363
土地	677,898	677,898
その他	226,704	220,734
減価償却累計額	△166,840	△159,843
その他（純額）	59,863	60,890
有形固定資産合計	1,151,422	1,149,813
無形固定資産		
のれん	58,655	37,764
その他	238,664	240,995
無形固定資産合計	297,320	278,760
投資その他の資産		
投資有価証券	469,490	497,509
破産更生債権等	130,675	126,387
その他	177,886	158,744
貸倒引当金	△143,653	△139,001
投資その他の資産合計	634,399	643,641
固定資産合計	2,083,142	2,072,215
資産合計	7,298,237	7,181,663

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	1,854,791	1,467,233
短期借入金	450,000	529,000
1年内返済予定の長期借入金	376,712	353,240
未払法人税等	46,006	19,850
契約負債	172,950	301,354
賞与引当金	127,680	195,311
完成工事補償引当金	11,102	11,525
その他	216,986	330,806
流動負債合計	3,256,229	3,208,321
固定負債		
長期借入金	499,465	423,479
役員退職慰労引当金	11,332	11,332
株式給付引当金	112,338	118,237
退職給付に係る負債	71,239	73,301
資産除去債務	26,633	27,235
その他	40,345	41,028
固定負債合計	761,353	694,614
負債合計	4,017,582	3,902,935
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,979,460	2,979,460
資本剰余金	698,682	698,682
利益剰余金	525,929	497,027
自己株式	△865,406	△861,575
株主資本合計	3,338,666	3,313,594
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△58,012	△34,866
その他の包括利益累計額合計	△58,012	△34,866
純資産合計	3,280,654	3,278,727
負債純資産合計	7,298,237	7,181,663

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)
売上高	3,229,782	2,993,663
売上原価	2,507,399	2,385,196
売上総利益	722,383	608,466
販売費及び一般管理費	587,214	538,979
営業利益	135,169	69,486
営業外収益		
受取利息	184	40
受取配当金	6,218	6,478
助成金収入	2,659	409
その他	2,362	2,708
営業外収益合計	11,424	9,636
営業外費用		
支払利息	4,108	4,004
その他	393	162
営業外費用合計	4,501	4,167
経常利益	142,091	74,955
特別利益		
子会社株式売却益	22,177	-
特別利益合計	22,177	-
特別損失		
固定資産除却損	4,106	-
特別損失合計	4,106	-
税金等調整前四半期純利益	160,163	74,955
法人税、住民税及び事業税	48,817	35,173
法人税等調整額	△7,297	△11,281
法人税等合計	41,519	23,892
四半期純利益	118,643	51,063
親会社株主に帰属する四半期純利益	118,643	51,063

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)
四半期純利益	118,643	51,063
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,408	23,145
その他の包括利益合計	△2,408	23,145
四半期包括利益	116,235	74,208
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	116,235	74,208

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、当社及び当社グループ会社の役員及び執行役員に対する業績連動型株式報酬制度(以下「本制度」という。)を導入しております。

1. 取引の概要

当社は、本制度の導入に際し役員株式給付規程を制定し、同規程に基づき、将来給付する株式の取得資金として、信託銀行に金銭を信託し、信託銀行はその信託された金銭により当社の株式を取得します。

2. 会計処理

「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成27年3月26日)に準じて、役員及び執行役員に割り当てられる見積りポイント数を基礎として、費用及びこれに対応する引当金を計上しております。

3. 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度末において138,283千円、501,800株、当第1四半期連結累計期間において134,452千円、487,900株であります。

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い)

当社及び当社グループ会社は、当第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	内装工事 事業	音響・照明 設備事業	設備・ メンテナンス 事業	人材サービス 事業	計		
売上高							
一時点で移転される 財又はサービス	880,935	505,423	241,409	207,234	1,835,003	160,098	1,995,102
一定の期間にわたり 移転される財又はサ ービス	788,723	300,106	99,533	—	1,188,362	—	1,188,362
顧客との契約から生 じる収益	1,669,658	805,530	340,943	207,234	3,023,366	160,098	3,183,464
その他の収益	791	38,588	6,938	—	46,317	—	46,317
外部顧客への売上高	1,670,450	844,118	347,881	207,234	3,069,684	160,098	3,229,782
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,095	—	44,796	2,436	48,327	16,960	65,287
計	1,671,545	844,118	392,677	209,671	3,118,012	177,058	3,295,070
セグメント利益又は損 失(△)	123,111	32,459	31,820	6,437	193,829	△7,972	185,857

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社グループ会社のシェアードサー
ビス業務を含んでおります。

なお、当第1四半期連結会計期間において全株式を譲渡した㈱ラルゴ・コーポレーション及び㈱エヌ・アイ・
エル・テレコムは「その他」の区分に含んでおります。

「その他の収益」は、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれるVODシステムの賃
貸収入等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	193,829
「その他」の区分の損失(△)	△7,972
セグメント間取引消去	△249,801
のれんの償却額	△19,954
全社収益(注)1	315,027
全社費用(注)2	△95,960
四半期連結損益計算書の営業利益	135,169

(注) 1. 全社収益は、主にグループ会社からの配当金収入等であります。

2. 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	内装工事 事業	音響・照明 設備事業	設備・ メンテナンス 事業	人材サービス 事業	計	
売上高						
一時点で移転される 財又はサービス	1,270,007	548,861	209,078	231,357	2,259,304	2,259,304
一定の期間にわたり 移転される財又はサ ービス	219,002	466,902	4,700	—	690,604	690,604
顧客との契約から生 じる収益	1,489,009	1,015,763	213,779	231,357	2,949,909	2,949,909
その他の収益	791	36,065	6,896	—	43,753	43,753
外部顧客への売上高	1,489,800	1,051,829	220,675	231,357	2,993,663	2,993,663
セグメント間の内部 売上高又は振替高	880	—	127,530	1,158	129,568	129,568
計	1,490,680	1,051,829	348,205	232,515	3,123,231	3,123,231
セグメント利益	56,093	45,043	9,125	7,729	117,992	117,992

(注) 「その他の収益」は、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれるVODシステムの賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	117,992
セグメント間取引消去	9
のれんの償却額	△19,787
全社収益(注) 1	63,765
全社費用(注) 2	△92,494
四半期連結損益計算書の営業利益	69,486

(注) 1. 全社収益は、主にグループ会社からの経営指導料等であります。

2. 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度において「その他」に含まれていた㈱ラルゴ・コーポレーション及び㈱エヌ・アイ・エル・テレコム並びに㈱アドバンテージの全株式を譲渡し、連結の範囲から除外したことに伴い、当第1四半期連結累計期間より「その他」の区分を廃止しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。